

写真で巡るシルクロード巡礼の旅



大阪港より、いざ出発…



船上より



4月21日〜23日



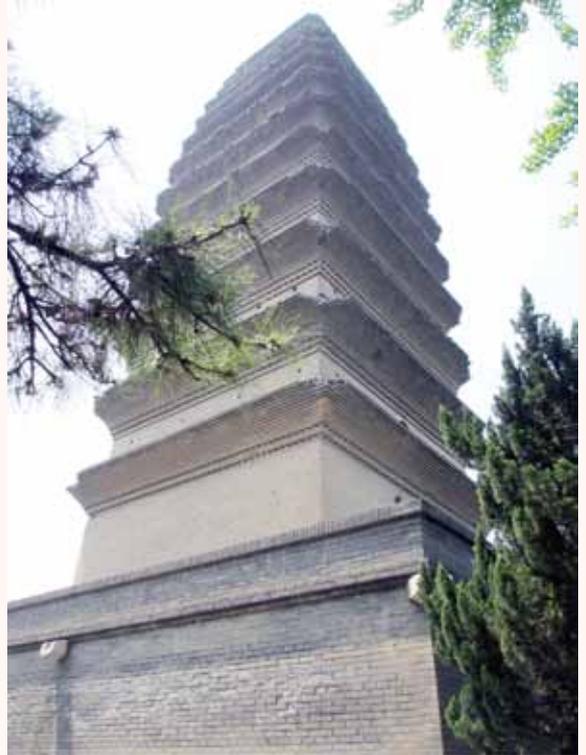
上海



西安



4月25日



西安



慈恩寺に立つ玄奘（三蔵法師）の像

★
★
★
★
★

4月25日



空海のプロフィールボード





空海の書や絵巻が飾られている青龍寺



★
☆☆☆
4月25日

西安



天水

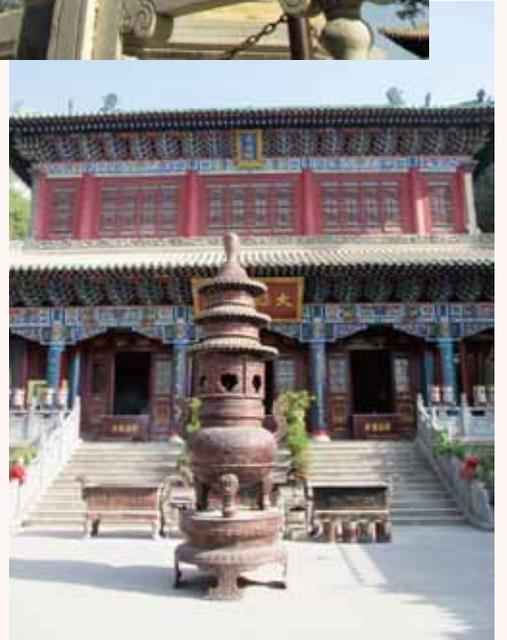


★
☆☆☆
4月27日





★
★
★
★
★
4月27日~28日



蘭州



4月28日~30日

張掖



武威



張掖



4月28日~30日



張掖



嘉峪关



4月30日~5月1日



敦煌



敦煌



5月1日~2日



1988年8月27日，日本首相竹下登下榻北楼。

敦煌



★
★ ★ ★
5月2日~3日



吐鲁番



吐魯番



★
★ ★ ★
5月3日~5日





喀什

礼拝堂に置かれているたくさんの帽子



★
★
★
5月5日



喀什



★
★ ★ ★
5月5日~7日



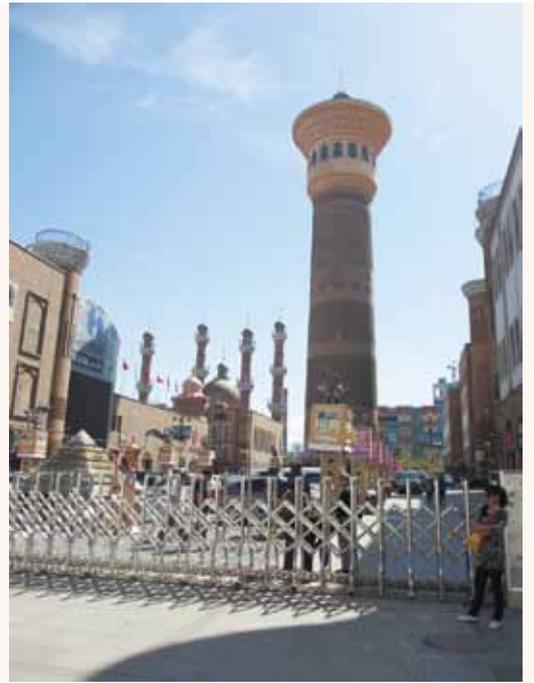


砂漠に無数の風車が異様に思える

烏魯木齊



★
★
★
★
★
5月7日~8日



烏魯木齊



★
★
★
★
★
5月8日



乌鲁木齐

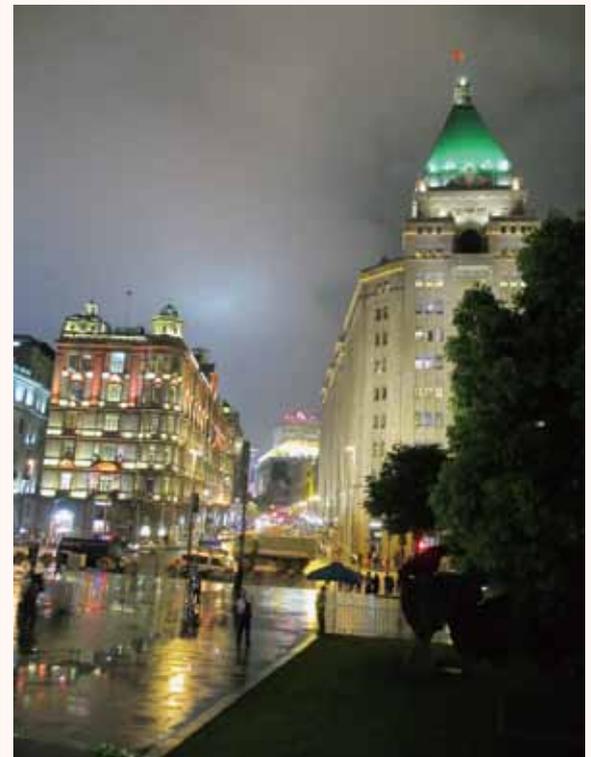


高速鉄道で一気に上海へ



5月9日~11日

上海

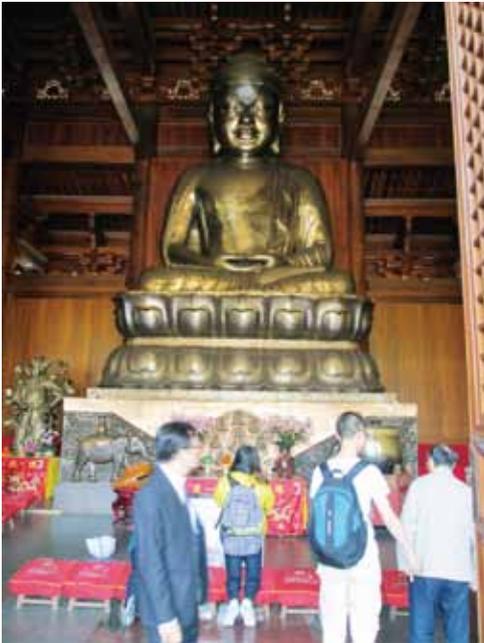




★
★ ★ ★
5月11日~12日

上海





★
★ ★ ★
5月12日
上海





★
★ ★ ★
5月12日~14日
上海





上海



5月16日出国



5月18日帰国

大阪



岸好猛・絲綢之路（シルクロード）を行く

ついに遍路行者岸好猛師がシルクロードの踏破に挑みはじめました。遍路の最終章がシルクロードであったことは、岸師自身が弘法大師が漂着した赤岸鎮の山上馬仙娘（ばせんこ）より海口を見下ろした時、また朝鮮半島巡礼の際に金剛山を見た時、すでに志を固めたと思われます。

絲綢之路は巡礼者にとって地球上におけるあらゆる道の原点であり、魅惑であり、難所であります。遍路行者として歩き続けている岸師にとってここに到達する事は、自然の流れであるかとも思いますが、その内情は本人しか知るよしもありません。

地球は移動手段の発達によって、物理的に狭められたとはいえ、反面人間のエゴによる争いにより、人と人との交流は難しく厳しい時代になってしまいました。シルクロードもかつての交易・文化の交流道の意味あい失われ、民族・国家・宗教等により寸断されてしまったように感じられます。特に今シルクロードを旅する事は危険な状況であります。逆にだからこそ、遍路行者にとって、シルクロードの巡礼は意味を成すものであり、どうしても今、挑まなければならないものなのでしょう。

このところ、遍路行者にとって地球上を歩くことが非常に難しい状況が生じています。渡航日数の制限や、渡航条件の厳しさ、申請条件の複雑さは、巡礼という無垢の旅人にとって大きな壁となっています。今回の絲綢之路巡礼も限られた制限の中での修行であり、岸師の意にそぐわないことも多々あったことと想像されます。しかしそのような条件の中で、今回タクラマカン砂漠の「天山北路」「天山南路」「西域南道」を踏破した成果は、長い遍路経験の真髓である「同行二人」に支えられたものであることは間違いありません。

絲綢之路（シルクロード）巡礼はまだまだ続くものと思われます。それは更なる危険な巡礼になる事でしょう。しかし巡礼者だからこそ、成さねばならない使命を背負わされているのだとおもいます。

かつて玄奘三蔵をはじめとして多くの僧侶が夢を、志を抱いて行き交った「絲綢之路」今、岸好猛という遍路行者によって歩き継がれていることに誇りを持ちたいものであります。

平成 27 年 6 月 21 日

東寺真言宗 宗務総長

橋 本 尚 信

平成 27 年 6 月 26 日 印刷

平成 27 年 6 月 30 日 発行

岸 好猛

絲綢之路巡礼

発行 福田寺

〒250-0854 神奈川県小田原市飯田岡257
電話 0465(36)2755 FAX 0465(37)6688

【非売品】

